

平成29年度

事業報告

平成29年4月 1日から

平成30年3月31日まで

公益財団法人 太田記念美術館

I 公益目的事業

1. 浮世絵に関する展覧会の企画および開催

1) 企画展示

太田記念美術館において下記のとおり展覧会を開催した。開館日数261日、特別展3回、企画展6回。年間入館者数は、当初の目標である57,500名に対し、34,854名多い92,354名(目標対比160%)。昭和55年に開館以来の最多入館者数記録となった。平成28年度の年間入館者数は、過去最多記録を10年ぶりに更新し、83,780名であったが、その記録をさらに8,574名上回った。

中でも、「葛飾北斎 富嶽三十六景—奇想のカラクリ」展は26日間の開催で入館者数は21,300名にのぼり、当館単独開催の展覧会における月間最多入館者数を記録した。一日平均入館者数は819名で、大規模海外展であるギメ東洋美術館所蔵浮世絵名品展(平成19年1・2月開催 43日間47,396名・一日平均1,102名)に次ぐ記録となった。

平成 29年度	展覧会名	会期	開館 日数	入館者数(人)				
				有料	無料	総計	1日平均	うち小中生
企画展	浮世絵動物園	前期 4/ 1 ~ 4/26 後期 5/ 2 ~ 5/28	46	16,912	798	17,710	385	573
企画展	馬琴と国芳・国貞 —八犬伝と弓張月	6/ 2 ~ 6/25	21	5,055	294	5,349	255	162
企画展	大江戸クルージング	7/ 1 ~ 7/23	20	4,596	248	4,844	242	158
特別展	月岡芳年 妖怪百物語	7/29 ~ 8/27	26	10,422	1,068	11,490	442	636
特別展	月岡芳年 月百姿	9/ 1 ~ 9/24	21	8,203	590	8,793	419	64
企画展	葛飾北斎 富嶽三十六景 —奇想のカラクリ	9/30 ~10/29	26	20,623	677	21,300	819	407
特別展	没後150年記念 菊川英山	前期 11/ 3 ~11/26 後期 12/ 1 ~12/20	38	6,906	894	7,800	205	106
企画展	明治維新150年 幕末・明治 —激動する浮世絵	前期 1/ 5 ~ 1/28 後期 2/ 2 ~ 2/25	42	8,511	519	9,030	215	308
企画展	江戸の女装と男装	3/ 2 ~ 3/25	21	5,814	224	6,038	288	59
合計			261	87,042	5,312	92,354	354	2,473

入館料 企画展：一般 700円、大高生500円、中学生以下無料

特別展：一般1000円、大高生700円、中学生以下無料

2. 浮世絵その他の美術品の収集、保存

1) 美術品の購入

収蔵品の体系的、通史的なバランス、展示計画を考慮の上、版本1点、版画を300点購入した。

2) 所蔵品の修復

今年度は所蔵品の修復は行わなかった。

3) 収蔵品の保存

浮世絵版画は光に弱く、展示により退色が進むため、作品の展示期間を厳正に管理した。また、温湿度管理、照度管理も厳格に行い、作品保護に努めた。

3. 浮世絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動

1) 講座等の開催

① 下記の講座を開催した。

ア) 江戸文化講座

浮世絵にとどまらず、江戸時代全般へ視点を広げ、さまざまな分野の専門家から江戸の文化を学ぶという趣旨の下、下記の連続講座(全3回)を開催した。

受講料:全3回5,000円(パスポート会員3,000円)、受講料に展覧会入場料含む。

(敬称略、肩書きは開催当時)

◇第1回 曲亭馬琴と浮世絵

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	6月 3日(土)	「馬琴と浮世絵師たちとの交流」 太田記念美術館学芸員 日野原 健司	44名
第二講	6月10日(土)	「浮世絵の八犬伝」 同朋大学特任教授 服部 仁	39名
第三講	6月17日(土)	「馬琴と役者似顔絵」 専修大学教授 板坂 則子	44名

◇第2回 落語と浮世絵で楽しむ江戸文化

講師:落語家 落語芸術協会所属 雷門 小助六

	開催日	演題	受講者数
第一講	1月13日(土)	「江戸の冬 - 暮れと新年①」	50名
第二講	1月20日(土)	「江戸の冬 - 暮れと新年②」	48名
第三講	1月27日(土)	「江戸の冬 - 暮れと新年③」	46名

◇第3回 浮世絵と仕立ての美 扇・絵巻・屏風

	開催日	演題・講師	受講者数
第一講	3月10日(土)	「浮世絵と扇」 造形作家・扇研究家 阿部 富士子	37名
第二講	3月17日(土)	「浮世絵と絵巻」 文学博士 阿美古 理恵	38名
第三講	3月24日(土)	「浮世絵と屏風」 淑徳大学客員教授 小澤 弘	35名

イ) 夏休み子ども講座

小中学生とその保護者を対象に、下記の講座を開催した。参加費は無料。

開催日	演題・内容	参加者数
7月22日(土)	夏休み子ども講座「浮世絵をつくってみよう」 ワークショップ参加者が、摺り師指導の下、実際に浮世絵版画の摺りを体験し、その制作工程を学んだ。 協力：公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団	19組 38名

ウ) 特別講座

若手の浮世絵研究者の育成を目的として、下記の特別講座を開催した。受講料は無料。

(敬称略、肩書きは開催当時)

開催日	演題・講師	受講者数
2月3日(土)	「明治の浮世絵にみる《江戸》—楊洲周延を中心に」 町田市立国際版画美術館学芸員 村瀬 可奈	33名
2月17日(土)	「浮世絵に描かれた母子の姿 —喜多川歌麿と菊川英山を中心に」 國學院大學大学院博士課程 洲脇 朝佳	33名
2月24日(土)	「肉筆浮世絵の技法と復元」 東京藝術大学大学院助手 向井 大祐	38名

エ) 学芸員によるスライドトーク

展示作品をより深く理解し、浮世絵を身近に感じてもらうことを目的として、担当学芸員によるスライドトークを下記のとおり開催した。参加費は無料。

展覧会名	開催回数	受講者数
浮世絵動物園	6回	408名
馬琴と国芳・国貞—八犬伝と弓張月	3回	276名
大江戸クルージング	3回	254名
葛飾北斎 富嶽三十六景—奇想のカラクリ	5回	603名
明治維新150年 幕末・明治—激動する浮世絵	7回	310名
江戸の女装と男装	3回	311名
合計	27回	2162名

② 日曜映写会の開催

企画展会期中の日曜日に浮世絵の歴史、伝統文化を紹介する映像資料の無料映写会を開催した。

上映内容 『浮世絵 江戸文化の精華』(制作:太田記念美術館) 他

年間上映回数 64回

観覧者総数 1,458名

2) 青少年への教育普及活動

青少年への教育普及活動の一環として、美術鑑賞の機会を幅広く提供するため、中学生以下の美術館入場料を引き続き無料とした。また、教育機関の美術鑑賞教育に協力する等、浮世絵美術の教育普及に努めた。

3) 年間パスポート制度

来館者へのサービス向上および浮世絵美術の普及を目指し、「太田記念美術館年間パスポート」制度を引き続き実施した。年会費6,000円。平成29年度会員数は505名であった。

会員証提示により、有効期間内の展覧会期中、何度でも入館することができるほか、絵はがき等のオリジナルミュージアムグッズおよび有料講座受講料の会員割引、特別展毎に招待券を2枚贈呈、展覧会・催事案内送付等の特典を提供している。平成29年度の招待券贈呈は、「月岡芳年 妖怪百物語」展・「月岡芳年月百姿」展共通招待券2枚、「没後150年記念 菊川英山」展2枚の計4枚。

4) 館外協力

① 教育機関等への協力

青少年に対する浮世絵美術の啓蒙・教育を目的として、教育機関の校外学習を受け入れた。また、調べ学習等には学芸員が対応した。主な内容は下記のとおり。

実施日	教育機関名・人数	内容
6月13日(火)	法政大学大学院 9名	学芸員による展示解説他
10月24日(火)	青山学院初等部 122名	図工科鑑賞授業

② 他機関への協力

美術品の貸出を下記のとおり行った。

貸出先	展覧会名	会期	貸出作品・点数
渋谷区立松涛美術館	『今様』—昔と今をつなぐ	H29. 4. 5～ 5.21	版画 2点
すみだ北斎美術館	大ダルマ制作200年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～	H29. 9. 9～10.22	版画 5点
城西国際大学水田美術館	浮世絵の版元と出版	H29. 9.26～10.14	版画 3点
和泉市久保惣記念美術館	ピカソと日本美術—線描の魅力	H29.10.15～12. 3	版画 2点
九州国立博物館	新・桃山展 —大航海時代の日本美術	H29.10.14～11.26	肉筆画 2点
国際共同プロジェクト イギリス・大英博物館 あべのハルカス美術館	Hokusai-beyond the Great Wave 北斎—富士を超えて—	H29. 5.25～ 8.13 H29.10. 6～11.19	版画 3点 肉筆画 3点

③ 調査研究依頼への協力

収蔵品の特別観覧の申請に対し、下記のとおり7件の研究に協力した。

(敬称略)

観覧日	観覧者	調査内容
4月 7日(金)	藤澤紫、藤澤茜、平凡社1名	鈴木春信他 肉筆画6点、版画35点
5月28日(日)	NHKドラマ『眩(くらら)～北斎の娘～』 出演者・制作スタッフ	葛飾応為 肉筆画1点
6月16日(金)	稲本響、トレックス・セミコンダクター(株)、 NHKドラマ『眩(くらら)～北斎の娘～』制作 スタッフ 計3名	葛飾応為 肉筆画1点

観覧日	観覧者	調査内容
9月14日(火)	大阪市立美術館 1名	河鍋暁斎他 版画3点、版本4点、扇1点
10月18日(水)	山梨県立博物館 1名	葛飾北斎 版画1点
2月 9日(金)	阿美古理恵	菱川師宣 肉筆画1点
3月11日(日)	早稲田大学、東京文化財研究所 計2名	作者不詳 京名所図屏風1双

5) 生涯学習活動への対応

生涯学習センター等の民間組織、団体見学者等に対して学芸員が下記のとおり浮世絵の概要、展示解説等を行った。

展覧会名	人数
浮世絵動物園	3団体 109名
大江戸クルージング	2団体 66名
江戸の女装と男装	1団体 20名
合計	6団体 195名

6) 広報活動

① マスメディア

・下記展覧会において記者内覧会を開催した。

「月岡芳年 妖怪百物語」展

「月岡芳年 月百姿」展

「葛飾北斎 富嶽三十六景－奇想のカラクリ」展

「没後150年記念 菊川英山」展

「明治維新150年 幕末・明治－激動する浮世絵」展

「江戸の女装と男装」展

・特別展「月岡芳年 妖怪百物語」展、「没後150年記念 菊川英山」展において、美術関係者を招待し、特別内覧会を開催した。

・展覧会ごとにプレスリリースを作成し、マスコミ各社へ送付した。

・浮世絵関心者層の増加、美術館の認知度向上および展覧会のPRを目的とし、新聞、テレビ番組、雑誌等の取材協力を積極的に行った。主な協力内容は下記のとおり。

掲載・放送日	媒体	内容
5月24日(水)	NHK 総合 ニュース シブ5時	「知力&体力で勝負！学芸員女子ホンネ爆発」に出演 座談会形式により学芸員の仕事を紹介
9月10日(日)	東京新聞 朝刊	「カジュアル美術館」欄 「月岡芳年 月百姿」展紹介記事掲載
9月12日(火)	朝日新聞 夕刊	「美の履歴書」欄 月岡芳年「月百姿 はかなしや波の下にも入ぬべしつきの都の人や見るとて 有子」を紹介(「月岡芳年 月百姿」展出品作品)
9月22日(金)	NHK 総合 歴史秘話ヒストリア	「おんなは赤で輝く 北斎の娘・お栄と名画のミステリー」 葛飾応為「吉原格子先之図」の作品撮影および取材協力
9月23日(土)	テレビ東京 美の巨人たち	歌川広重「名所江戸百景」 作品撮影および取材協力

掲載・放送日	媒体	内容
12月 3日(日)	NHK Eテレ 日曜美術館アートシーン	「没後150年記念 菊川英山」展を紹介
1月 7日(日)	産経新聞 朝刊	「アート美」欄 「明治維新150年 幕末・明治―激動する浮世絵」展 紹介記事掲載
2月 7日(水)	日本経済新聞 朝刊	展覧会批評 「明治維新150年 幕末・明治―激動する浮世絵」展
3月13日(火)	朝日新聞 夕刊	「江戸の女装と男装」展紹介記事掲載
3月15日(木)	産経新聞 朝刊	「江戸の女装と男装」展紹介記事掲載
3月19日(月)	毎日新聞 夕刊	「アートの扉」欄 落合芳幾「獅子王二和賀全盛遊」を紹介 (「江戸の女装と男装」展出品作品)

- ・美術館の周知および入館者増加を図るため、「没後150年記念 菊川英山」展について日本経済新聞朝刊に広告を1回掲出した。
- ・写真資料の提供を希望するテレビ番組、美術関連書籍、雑誌等に対してその利用目的等を確認の上、貸出を行い、江戸文化、浮世絵美術の普及に努めた。
- ・葛飾応為を主人公としたNHKの特集ドラマ『眩(くらら)～北斎の娘～』(平成29年9月18日放送)に対し、撮影、画像提供等の協力をした。

② 印刷物の製作・配布

- ・平成29年度展示案内を館内にて配布した。
- ・各展覧会のポスター・チラシおよび江戸文化講座、夏休み子ども講座のチラシを製作し、館内にて掲示・配布するとともに、美術館、博物館、教育機関、公共機関等への配布を行い、展覧会、催事の周知に努めた。
- ・第34回浮世絵研究助成の募集要項チラシ(日本語/英語)を作成し、館内にて掲示・配布するとともに、内外の美術館、博物館、教育機関、公共機関等へチラシ配布を行い周知に努めた。

③ ウェブサイト、ソーシャルメディアの運用

- ・ウェブサイトにて、館案内、展覧会、講座等の情報を展開し、年間を通して随時情報の更新を行った。
- ・ロコミによる情報の拡散を狙い、Twitterを活用して展覧会情報、催事等、美術館ウェブサイトと相互に連携した情報発信を積極的に発信することにより、集客力の向上および若年層への認知度向上に努めた。
Twitterフォロワー数は平成30年3月31日現在109,814名であり、一年間で1万5千名以上のフォロワーが増加した。

7) 他館との連携

- ① 「月岡芳年 妖怪百物語」展および「月岡芳年 月百姿」展において、横浜市歴史博物館にて開催の「丹波コレクションの世界Ⅱ 歴史×妖×芳年」展(平成29年7月29日～8月27日)と、入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

- ② 「葛飾北斎 富嶽三十六景ー奇想のカラクリ」展において、すみだ北斎美術館にて開催の「大ダルマ制作 200年記念 パフォーマー☆北斎 ～江戸と名古屋を駆ける～」展(平成29年9月9日～10月22日)と入館料の相互割引、ポスターの相互掲出、チラシの設置等、広報協力を行った。

8) 地域との連携

- ① JR渋谷駅、恵比寿駅、原宿駅を結ぶエリアの文化施設連携事業「あ・ら・かるちやー」に今年度も参加し、館内にて紹介冊子を配布するとともに、入場料の相互割引に協力した。また、広報担当者が運営会議等に出席し、他館との情報交換を行った。
- ② 東京都が行う外国人旅行者向け観光事業「ウェルカムカード」に引き続き参加し、施設割引特典付ウェルカムカード持参の外国人観光客に対して入場料割引を行った。
- ③ 東京地下鉄株式会社、東京都交通局の行う観光客向けサービス「ちかどく」に引き続き参加し、対象乗車券の提示により入場料割引を行った。

9) ミュージアムグッズ等の制作・販売

- ① 来館の記念となり、来館者が商品購入を通じて美術に親しみ、関心を深めるためのミュージアムグッズ等制作、販売した。また、復刻浮世絵版画、開催展覧会に関連したグッズ、浮世絵関連書籍等を受託販売した。

当館のミュージアムショップは美術館入館受付と兼ねているため、限られたスペースの中で来館者のニーズに沿うべく、販売商品を考慮のうえ選定し、充実を図った。

今年度に制作した太田記念美術館オリジナルのミュージアムグッズは下記のとおり。

- ・絵はがき 26種
 - 通年販売：18種
 - 「月岡芳年 妖怪百物語」展：2種
 - 「月岡芳年 月百姿」展：3種
 - 「葛飾北斎 富嶽三十六景ー奇想のカラクリ」展：3種
- ・マスキングテープ 2種
- ・クリアファイル 4種

- ② 当館発行の展覧会図録を、東京国立博物館ミュージアムショップ、芸大美術館ミュージアムショップにて引き続き委託販売した。

10) その他

- ① 各展覧会毎に作品タイトル、主だった展示解説について引き続き和英表記を行い、英語版作品リストを作成した。また、英語対応の可能な事務職員が常駐し、外国人観光客の受け入れ態勢の充実に努めた。
- ② 特別展として二ヶ月連続開催の芳年展「月岡芳年 妖怪百物語」展および「月岡芳年 月百姿」展において、両展覧会の会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館割引を実施した。
- ③ 特別展「没後150年記念 菊川英山」展において、会期中2回目以降の来館者に対し、リピーター向け入館割引を実施した。

- ④「馬琴と国芳・国貞ー八犬伝と弓張月」展において日本近世文学会の後援を受けた。
- ⑤「館鼻則孝リ・シンク展」(平成29年8月12日から8月20日まで表参道内のイベントスペースにて開催)の
展覧会開催協力を行った。
- ⑥ 展覧会図録『藤澤衛彦コレクションー摺物を中心としてー』について、平成10年4月に刊行して以降、作品
所蔵先である鴨川市郷土資料館にて委託販売を行っていたが、平成29年4月、委託在庫全て(135冊)を鴨
川市教育委員会へ寄贈した。

4. 浮世絵研究者の育成および助成

- ① 内外の新進浮世絵研究者育成のため、第34回浮世絵研究助成を公募し、平成30年1月31日、応募5編全て
を選考委員会で審査した結果、次の研究テーマ2編を選入した。
選考委員は、竹内誠氏(東京都江戸東京博物館名誉館長)、河野元昭氏(東京大学名誉教授)、北原進氏
(立正大学名誉教授)、及川茂氏(日本女子大学名誉教授)、大久保純一氏(国立歴史民俗博物館教授)
の5名。選考委員の肩書きは選考会当時のもの。

入選者	入選研究テーマ	助成金
加藤 一輝	19世紀フランスにおけるカリカチュアとしての浮世絵の受容	300,000円
陳 卓卿	日本における中国道釈人物画について 一見立三酸図を中心にー	450,000円

- ② 平成30年3月刊行の『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第8号』に、平成27年度第32回浮世絵研究助成
入選者である五味あずさ氏、松葉涼子氏の、助成による研究成果に基づいた論文の寄稿を受け、掲載した。
- ③ 浮世絵研究者の育成を目的として、研究成果発表の機会を提供することにより、研究活動の支援ならびに
研究者相互の交流を図るため、若手研究者3名の講演会を開催した。講演会詳細については3頁「3. 浮世
絵美術ならびに江戸文化の啓蒙普及活動」のうち、特別講座の項に記載。

5. 浮世絵等の資料収集・整備、調査研究および出版

1) 作品の調査研究

- ① 展覧会開催のため収蔵品の調査研究を行った。また、特別展開催に向けて他の美術館、博物館、ならびに
個人所蔵の関連作品の情報収集を行うとともに調査研究ならびに出品交渉を行った。
- ② 展覧会毎に、来館者の鑑賞体験の充実を支援するための解説パネルの原稿を執筆した。

2) 資料・図書の充実

- ① 収蔵品の調査研究、図録制作のため、写真撮影を行った。
- ② 作品管理の簡便化を図るため、主要収蔵品についてデジタルデータ化を進めた。
- ③ 展覧会開催および調査研究に必要な図書資料等を購入した。
- ④ 新収蔵品について作品情報データベース、美術品目録、作品カードの整備を行った。

3) 展覧会図録等の刊行

① 以下の展覧会の開催にあわせ、図録を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

- ・「葛飾北斎 富嶽三十六景－奇想のカラクリ」展
日野原 健司 「葛飾北斎「富嶽三十六景」概論」
- ・「没後150年記念 菊川英山」展
赤木 美智 「菊川英山の画業について－文化期を中心に－」

② 『太田記念美術館紀要 浮世絵研究 第8号』を刊行し、当館学芸員の研究論文を掲載した。

- 日野原 健司 「葛飾応為の版本挿絵－『女重宝記』と『煎茶手引之種』」
- 赤木 美智 「歌川国芳《通俗水滸伝豪傑百八人之一個(壹人)》考」

③ 以下の書籍の監修、執筆を行った。

- ・『月岡芳年 妖怪百物語』
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司、渡邊晃 翻訳:山添美代
発行:株式会社青幻舎(平成29年7月)
- ・『月岡芳年 月百姿』
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司 発行:株式会社青幻舎(平成29年8月)
- ・『広重 名所江戸百景』
監修:太田記念美術館 執筆:日野原健司、渡邊晃 発行:美術出版社(平成29年9月)
- ・『江戸の女装と男装』
監修:太田記念美術館 執筆:渡邊晃 発行:株式会社青幻舎(平成30年3月)

6. 美術館の運営

1) 美術館改修工事

昨年度に引き続き、老朽化した設備を中心に改修工事を行った。主な工事内容は下記のとおり。

LED照明付地下階段手摺改修工事、地下階段ノンスリップテープ張替え工事、展示ケース製作工事、
収蔵庫内家具製作工事、展示室内非常照明更新工事、展示室内照明器具改修工事、植栽植替え工事
外看板追加改修工事 他

2) 施設の整備

- ① 来館者が安全、快適に過ごせるよう、適切な保全管理に努めた。
- ② 平成29年11月に行った消防設備点検において誤作動の可能性のある感知器を特定し、交換した。
- ③ 展示室内の空調用エアフィルターを交換した。

II 収益事業(美術館建物の一部を店舗として賃貸する事業)

美術館建物の地下の一部を、てぬぐい専門店である株式会社かまわめに賃貸した。

Ⅲ 理事会・評議員会等の開催

平成29年6月8日	平成29年度第1回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成28年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員の候補者承認の件 監事の候補者承認の件 理事の候補者承認の件 資料収集等事業基金規程の改定および資金繰入承認の件 評議員会開催の件	原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数5名、出席7名、欠席2名、監事出席2名	
平成29年6月24日	平成29年度第1回評議員会(決議の省略)	
決議事項	平成28年度事業報告および収支決算の承認の件 評議員の選任の件 監事の選任の件 理事の選任の件	書面決議 書面決議 書面決議 書面決議
平成29年7月7日	平成29年度第2回理事会(決議の省略)	
決議事項	太田順子を代表理事に選定し、理事長とする件 倉光保夫を代表理事に選定し、副理事長とする件	書面決議 書面決議
平成30年3月9日	平成29年度第3回理事会	
開催場所	南国酒家 原宿店	
決議事項	平成30年度事業計画および収支予算承認の件 資料収集等事業基金の資金繰入承認の件	原案通り可決 原案通り可決
報告事項	代表理事の職務執行状況の報告	
出席等	定足数5名、出席6名、欠席2名、監事出席2名	

Ⅳ 官公庁への届出等

平成29年6月27日	内閣府へ事業報告等の提出(平成28年度)を電子申請
平成29年8月1日	内閣府へ変更の届出(理事の退任、評議員の就任)を電子申請
平成30年3月21日	内閣府へ事業計画書等の提出(平成30年度)を電子申請

平成29年度事業報告の附属明細書について

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年6月

公益財団法人 太田記念美術館